日本湖沼の浮游性藍藻 II

根 來 健 一 郎

(東京文理科大學植物學教室)

[圖版 1~2]

Planktoncyanophyceen in japanischen Seen und Teichen

Von K. NEGORO

Von den Planktoncyanophyceen in japanischen Binnengewässern wurden hier noch weiter folgende drei beschrieben:

Coelosphaerium Naegelianum Ung. (Taf. I, Fig. 1~3)

Fundort: Ryoshi-ko, Hokkaido.

Anabaena flos-aquae (Lyngb.) Bréb. var. *Trelesi* Born. et Flah.

(Taf. II, Fig. 6~9)

Fundort: Akan-ko, Hokkaido.

Anabaena Scheremetievi Elenkin var. *recta* Elenkin f. *rotundospora* Elenkin

(Taf. I, Fig. 4~5)

Fundort: Ein Brackwasser-Teich in Chiba Provinz, Honshu.

6. *Coelosphaerium Naegelianum* Ung.

G. M. Smith: Wisconsin Phytoplankton. Part I, 1920, p. 35~36, Pl. 3, Fig. 6, Pl. 4, Fig. 1; L. Geitler: Pascher's Süßwasserflora. Heft 12, 1925, S. 101, Fig. 115 a, b; L. Geitler: Rabenhorst's Kryptogamen-Flora, Bd. 14, 1932, S. 249~252, Fig. 121, a, b, e.

採集湖沼：北海道リヤウシ湖（網走湖と能取湖との中間に位する小淡水湖）。

採集者並に採集年月日：吉村信吉氏（31. VIII. 1936）。

群體は球形、橢圓形、或は腎臓形をなし、 $50\sim90\mu$ 、無色透明の厚い粘質外壁を有す。細胞は卵形、幅 $3\sim4.5\mu$ 、長さ $6\sim8\mu$ 、分裂中の細胞はほぼ心臟形をなす。各細胞は、粘質塊中に外壁の部を残してほぼ一列放射狀に、その尖つた方を内に向けて並ぶ。各群體の粘質外壁は、その厚さ $5\sim9.5\mu$ 、メチレン青の薄い溶液で染色すると、それを貫いて走る多數の細線が表れ、放射狀の構造があることがわかる。細胞はガス胞を有し、群體の色は褐色なり。

本種は、リヤウシ湖の植物性プランクトンの一員として、*Aphanizomenon*, *Ceratium*, *Melosira*, *Staurastrum* と共に多量に出現す。プランクトン採集時に於ける表層湖水は温度 22.5°C , $\text{pH} = 7.0$ であつた。

分布：歐洲、ロシア、北米の湖沼に現れ、屢々「水の華」を形成す。

7. *Anabaena flos-aquae* (Lyngb.) Bréb. var. *Treleasi* Born. et Flah.

G. M. Smith: Wisconsin Phytoplankton. Part I, 1920, p. 60, Pl. 10, Figs. 5~7; L. Geitler: Pascher's Süßwasserflora, Heft 12, 1925, S. 324, Fig. 380; L. Geitler: Rabenhorst's Kryptogamen-Flora, Bd. 14, 1932, S. 891, Fig. 571 c.

採集湖沼：北海道阿寒湖。

採集者並に採集年月日：吉村信吉氏（1. IX. 1935）。

絲狀體は不規則に彎曲す。細胞は橢圓形乃至樽形、幅 $4\sim5\mu$ 、長さ $4.5\sim10\mu$ 、ガス胞を形成す。異形細胞は橢圓形、幅 $5\sim6\mu$ 、長さ $6\sim8\mu$ 。休眠胞子は圓筒形にして末端丸く、眞直か或は少しく彎曲し、その大きさは幅が $6\sim7\mu$ 、長さ $15\sim40\mu$ なり。

本藻は、著者の調べた阿寒湖の材料に於ては、*Ceratium*, *Asterionella* と共に多量に出現す。湖水は、プランクトン採集時に於て、表面で温度 18.8°C ,

pH = 7.4 であつた。

分布：北米の湖沼。

8. *Anabaena Scheremetievi* Elenkin var. *recta*, Elenkin
f. *rotundospora* Elenkin.

L. Geitler: Pascher's Süßwasserflora, Heft 12, 1925, S. 314, Fig. 366 b, c; L. Geitler: Rabenhorst's Kryptogamen-Flora, Bd. 14, 1932, S. 879 ~ 881, Fig. 561 b, c.

採集湖沼：千葉縣京成電車谷津遊園地内の汽水池。

採集者並に採集年月日：根來健一郎 (20. V. 1936)。

直線狀の絲狀體にして、長さは普通 300 ~ 500 μ 。各絲狀體は單獨に浮游す。細胞は樽形又は球形、幅 8 ~ 10 μ 、長さ 7 ~ 10 μ (分裂直後のものは長さ約 5 μ)、ガス胞を形成す。異形細胞は球形にして、その直徑 10 ~ 12 μ 。休眠胞子も同じく球形にして、直徑 16 ~ 19 μ なり。休眠胞子は異形細胞と接せず。

本藻は、G. M. Smith が北米 Wisconsin 湖より記載したる *Anabaena planctonica* Brunth. の球狀胞子を形成するもの (G. M. Smith: Wisconsin Phytoplankton. Part I, 1920, p. 56 ~ 57, Pl. 8, fig. 2) に似てゐるが、それとは絲狀體の幅、異形細胞及び休眠胞子の大きさを異にすることによつて區別せられる。

本藻は、昭和 11 年春東京文理科大學植物學教室の職員學生一同が、千葉縣稻毛海岸へ遠足した折、著者が京成電車谷津遊園地内の一小池に於て採集したるものであり、當時、少量の *Microcystis* を伴つて、青綠色の水の華を形成してゐた。同小池は海岸の近くにあつた故に、歸京後藻類と共に採集したる標本瓶中の水少量を用ひて Cl' の定量をしたるに、果して多量の Cl' 含んでゐることを確めたから、汽水池なりと認む。

分布：ロシアの湖沼。

圖 版 說 明

- 第 I 圖版 1~3 *Coelosphaerium Naegelianum* Ung. (1), (2).....× 400;
 (3).....× 900, 細胞の種々の形を示す。
- 4~5 *Anabaena Scheremetievi* Elenkin var. *recta* Elenkin
 f. *rotundospora* Elenkin.× 400.
- 第 II 圖版 6~9 *Anabaena flos-aquae* (Lyngb.) Bréb. var. *Treleasi* Born. et
 Flah. (6), (7).....× 400; (8), (9).....× 900;
 (7).....休眠胞子と異形細胞を有する絲狀體の一部。

前論文「日本湖沼の浮游性藍藻 I」の正誤

頁	行	誤	正
165	1	<i>Anabaenopsis</i>	<i>Anabaenopsis</i>
165	26	P. FRÉMY	P. FRÉMY
166	20	6 月	9 月
167	21	500 m	300 m

1

2

3

4a

4b

5